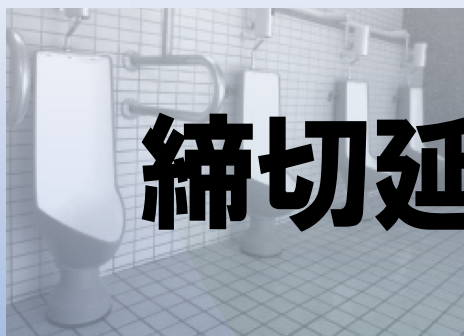




第39回

素形材産業技術賞 募集のご案内



締切延長

応募締切

6.2(金)

令和5年

~~5.19(金)~~

表彰式

令和5年

11.2(木)

応募対象とする素形材産業技術とは

- 鋳造、ダイカスト、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金、型、金属熱処理に関する技術
- 鋳造機械、鍛圧機械、工業炉に関する技術
- 素形材及びその製造に密接な関連がある加工技術 (Additive Manufacturing、複合加工、レーザ応用等)、材料技術
- 素形材に関連したソフトウェア技術(IoTやAI等の活用も含む)等

11月は、

素形材
月間

です。

“素形材表彰”で検索

素形材表彰 ▾

ご応募・問い合わせ先

一般財団法人 素形材センター 業務部
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
(機械振興会館301号室)

電話: 03(3434)3907 FAX: 03(3434)3698

E-mail: gyoumu@sokeizai.or.jp

■ 本賞の趣旨

素形材産業技術賞は、(一財)素形材センターが1985年度に創設した歴史ある表彰制度で、優秀な素形材産業技術の開発により、わが国素形材産業の技術水準の進歩向上に著しく貢献した技術の開発者を表彰し、もってわが国素形材産業の振興に資することを目的としています。特に優れた開発技術には、これまで素形材関連の学・業界として唯一、経済産業大臣賞が授与されてきました。

本表彰事業は、11月の素形材月間事業(本年度で29回目)の中心に位置付けられており、経済産業省関係者等も列席して、表彰式を挙げる予定です。

素形材企業及び素形材業界を応援する表彰制度です。ご応募をお待ちしています。

■ 表彰の対象 ※本年度より、従来技術の改良・改善も対象です(下線部の通り)。

◆素形材産業技術表彰委員会で審査の結果、概ね過去5年以内に開発され、「実用化の実績(実用化の具体的な見通しのあるものを含む)がある新技術・新製品」或いは、「従来技術であっても改良・改善を加えることで特筆する効果を発揮した技術・製品」として認められた優秀な素形材産業技術の開発者に素形材センターより素形材センター会長賞及び奨励賞を授与するものです。

◆特に優秀なテーマについては、経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、経済産業省製造産業局長賞の交付を申請する予定です。

【表彰の種類(予定)】

- ◇経済産業大臣賞※1
- ◇中小企業庁長官賞※1
- ◇素形材センター会長賞
- ◇産業デザイン財団賞※2
- ◇経済産業省製造産業局長賞※1
- ◇素形材産業技術表彰委員会特別賞
- ◇奨励賞

※1: 特に優秀と認められた場合に、経済産業省へ大臣賞等の授与を申請します。但し、所定の水準に達しない場合は“該当なし”とします。

※2: 大臣賞、長官賞、局長賞、及び会長賞受賞者の中から、指導者として中核的な役割を果された中小素形材企業の経営者を対象とします。

表彰状および副賞の楯



■ 表彰の対象・内容

次の i ~viiiのいずれかについて、顕著な功績を収めた技術開発者を表彰します。

- i 素形材の品質、性能の向上
- ii 素形材生産の効率化
- iii 作業環境の改善又は安全性の向上
- iv 環境の保全(公害防止、廃棄物処理・再生利用、地球環境保全)
- v 資源及びエネルギー使用の効率化
- vi 異分野企業等との連携事業による新たなビジネスモデル構築など
- vii IoT(Internet of Things)等に配慮した新たな生産体制構築など
- viii その他素形材産業の発展に寄与(SDGs/カーボンニュートラルも含む)

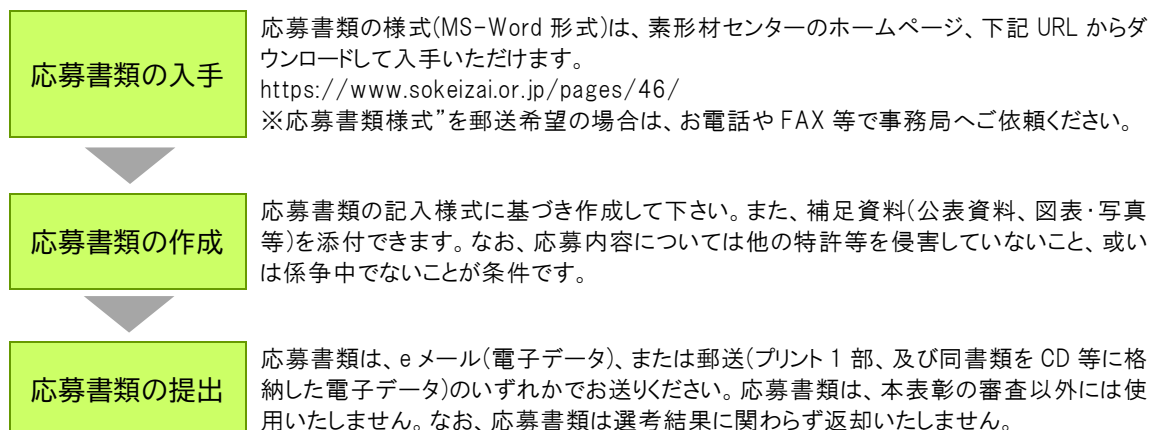


■ 募集期間

令和5年3月13日(月)~5月19日(金)

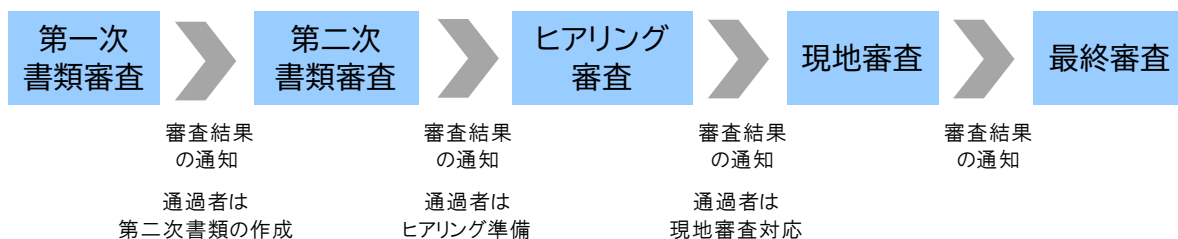
6月 2日(金) ※締切を延長しました。

■ 応募の方法



■ 審査の流れ

審査は、素形材センター会長が委嘱する学識経験者で構成する素形材産業技術表彰委員会において、本賞の審査基準に基づき以下の流れで審査します。



※新型コロナウイルス感染防止のため、一部、審査方法が変わる場合があります。

【審査基準】

- ✓ 技術レベル（革新性、品質向上貢献度、生産性、開発難易度等）
- ✓ 実用化実績（或いは実用化の具体的な見通し）
- ✓ 環境配慮性（省エネルギー、CO₂排出削減、省資源等）
- ✓ 経済性や経営への貢献度
- ✓ 将来への発展性・産業への寄与



■ 受賞者の公表

- ◆11月の素形材月間記念式典で公表・表彰式を行います。
- ◆当センターのホームページやメールマガジン等で公表・PRいたします。概要は、月刊誌「素形材」12月号に掲載します。その際には、原稿執筆をお願いいたしますので、予めご了承ください。

■ 表彰式

素形材月間の主要事業として、素形材産業技術賞等の表彰式を行います。

- ◆開催日：令和5年11月2日(木)
- ◆会場：機械振興会館大ホール
(東京都港区芝公園3-5-8)

※上記は、募集開始時点の予定です。

令和4年度 第38回素形材産業技術賞 受賞一覧



経済産業大臣賞

順送プレス打抜き型内接着技術による電動車駆動用モーターコア製造技術の開発
黒田精工株式会社



中小企業庁長官賞

鋳物砂のLoI(強熱減量)監視装置と砂再生システムの開発
太洋マシナリー株式会社



経済産業省製造産業局長賞

スタックモールド鑄造法による自動車用大型ブレーキ部品製造技術の開発
アイシン高丘株式会社



一般財団法人素形材センター会長賞

多孔質電鑄金型を用いたフィルム真空成形と射出成形の連続工法の開発
KTX株式会社
成形不具合の自動検出とトライの高効率化を実現するプレス金型圧力の動的可視化システムの開発
株式会社アデック / UEL株式会社 / 株式会社クライムエヌシーデー / 株式会社理研計器奈良製作所
環境負荷に配慮した真空浸炭焼入プロセスと量産設備の開発
トヨタ自動車株式会社 / DOWAサーモテック株式会社



素形材産業技術表彰委員会特別賞

水中の超音波振動と脱気を利用したバリ取り洗浄技術の開発
株式会社ブルー・スターR&D
熱処理シミュレーションと金属3Dプリンターによる誘導加熱用加熱コイルの開発
ティーケーエンジニアリング株式会社 / あいち産業科学技術総合センター / 愛知産業株式会社
IoT活用による一個流し冷間鍛造ヨーク生産ラインとDX生産管理システムの開発
協和工業株式会社 / 有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所
耐破壊型ダクタイル鑄鉄製小便器の開発
伊藤鉄工株式会社



奨励賞 4件



産業デザイン財団賞（令和2年度新設）2名

太洋マシナリー株式会社 代表取締役社長 渡辺 兼三 氏
株式会社アデック 代表取締役社長 久野 拓律 氏

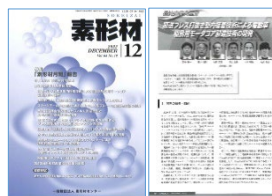
※ なお受賞内容等の詳細は、素形材センターホームページで紹介しております。

受賞技術、製品等の普及支援

受賞技術を月刊誌「素形材」等で紹介し、技術・製品等の普及をお手伝いします。

素形材に携わる経営者や技術者、そしてユーザーの皆様にご愛読いただいております本誌12月号に受賞内容を紹介します。

これまで経済産業省本館ロビーに於いて“受賞技術の展示”を行いました。本年度も展示を予定しています。



特典

素形材センター会長賞以上を受賞された技術開発代表者には、月刊誌「素形材」を1年間無料で購読いただけます。



一般財団法人素形材センター

Sokeizai Center

〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館301号室

電話:03(3434)3907 FAX:03(3434)3698

ホームページURL : <http://sokeizai.or.jp>